

図書館システムのデータ移行問題検討会 『報告会』を開催します

公共図書館において図書館システムを更新する際のデータ移行に関わる問題を検討するため、日本図書館協会では、2015年10月～2018年3月まで、図書館システムのデータ移行問題検討会を期限付きで設置し、検討結果を「報告書」として公表しました。

この「報告書」の内容について、会員並びに広く図書館システムに関わる関係者に説明を行う『報告会』を開催します。

あわせて、「報告書」の中で今後の課題となった「利用者パスワードの管理と移行」について、“システム更新毎にリセットされる問題”を中心にした学習会を、あわせて行います。

公共図書館でシステムに携わる関係者に限らず、関心のある皆さんの参加をお待ちしています。

2018年12月17日(月)

午後2時～5時

日本図書館協会2階研修室

●資料費：500円

http://www.jla.or.jp/traffic_guide/tabid/75/Default.aspx



主催 元日本図書館協会図書館システムのデータ移行問題検討会

●内容

- ・「報告書」説明
検討会元委員 米田 渉
(成田市立図書館
認定司書第1052号)
- ・学習会
『図書館システム個人パスワードの管理と移行の課題(仮題)』
(株)カーリル 代表取締役
吉本 龍司氏

●申込

下記アドレスまで、電子メールでお申込みください。件名は「12月17日報告会参加」として、氏名・所属・連絡先をお知らせください。

oba★jla.or.jp

(★を@に置き換えてください。)

※当日参加も可能ですが、資料準備の都合上できるだけご連絡ください。